



学校運営協議会だより

市川市立第四中学校
第4号
令和5年2月22日

第4回学校運営協議会では、委員12名のうち11名が出席し、授業を見学した後、今年度の総括と次年度の運営方針案について協議しました。

□ 今年度の学校運営について

12月に実施した学校評価の結果等を参考に、今年度の学校運営について、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「信頼される学校」の4項目を5段階(5:十分達成できた～1:全くできなかった)で評価しました。

項目 評価平均	主 な 意 見
確かな学力 4. 1	<ul style="list-style-type: none">ICTを活用したり、グループ学習を取り入れたりと、生徒が能動的に授業に参加し、思考力、応用力、発展力を育てる授業や、協働的な学びがしっかりと行われている。生徒は楽しみながら授業に参加しているが、生徒が「わかった。楽しかった。」で終わるのではなく、その知識をいかに持続させ、今後継続させるかが課題だと思う。授業が工夫されたことで、生徒たちは学力が身についたと思う。しかし、保護者はお子さんのことが心配なようである。親と子の対話のきっかけづくりを行うとよい。
豊かな心 4. 3	<ul style="list-style-type: none">あいさつ運動、人権教育、文化芸術教室(狂言体験)、合唱コンクール、夢の教室、校外学習など、多彩な学校行事を実施するとともに、生徒と保護者の意見を取り入れて校則の見直しや制服の選定を行い、生徒の豊かな人間性や社会性をはぐくんでいる。他者理解を進めていく中では、様々な触れ合いが大切だと思う。コロナ禍で制限されていた主体的な活動をぜひ増やしてほしい。あいさつ運動では進んであいさつしてくれる生徒が増え、下校時もあいさつしてくれる生徒もいて、好感が持てた。また、学校を訪れると、いつも多くの生徒が声をかけてくれるのがうれしい。
健やかな体 4. 1	<ul style="list-style-type: none">保護者学校評価で、約3分の1の保護者が、規則正しい睡眠や食生活に課題があると回答をしているところが気になった。コロナ感染症対策に関するガイドラインが緩和方向に向かう中で、生徒自らが健康意識が高まるような取組を続けてほしい。今年度はコロナによる学級閉鎖等も少なく、校内で予防に気がつかっているのがよくわかる。
信頼される学校 4. 4	<ul style="list-style-type: none">学校を見学した時の学校の落ち着きと生徒の気持ちは安定しており、信頼に値する学校運営がなされていると感じ取れるものであった。登校時の安全性も対応しており、達成できていると感じる。ブログがこまめに更新されているので、学校の様子がよくわかる。12月の終業式には引き渡し訓練で保護者と一緒の下校する様子が見られた。

<委員からの学校への意見>

- 授業ではグループ活動が多く見られ、生徒の笑い声も聞こえた。コロナ対策のため授業で出来ない活動もあったが、少しずつ制限が緩められ、四中生らしさが戻ってきた。
- 保護者対象の学校評価では、「授業がわかりやすい」の項目で70%程度だが、生徒対象では同じ項目で90%を越えていると聞いた。定期試験等で点数が思ったより低いと、保護者としての評価が下がるのかもしれない。6月より12月の評価が下がっているが、これは学習内容が難しくなっているのでは、悲観しなくてもいいと思う。スマホなどで家庭での学習時間を確保できていない生徒もいると思うので、保護者の声掛けも必要である。
- 先生方は、生徒に興味を持たせるように授業の方法を工夫していると感じた。生徒は楽しそうに学習課題に取り組んでおり、積極的に挙手する様子も見られた。
- 校内研修の成果もあるのか、若年層の先生が自信を持って授業をしている。授業でも生徒がのびのびとしており、自分たちで授業を作り上げているのがわかった。先生方の指導が厳しいと統率が取れているように見えるため、保護者から見たら高評価になるかもしれないが、生徒自身が学校や授業を作り上げていく方を大切にほしい。